

2022 年度（令和 4 年度）

事業報告書（承認済み）

自 2022 年 4 月 1 日

至 2023 年 3 月 31 日

公益財団法人 日印協会

〒102 - 0083 東京都千代田区麴町 1 丁目 6 番地

## 2022年度 事業報告

### <一般概況>

3年前中国武漢に端を発し世界に蔓延した新型コロナウイルス感染症は、ワクチン及び治療薬の開発が進むものの、ウイルスの新たな変異株との戦いが続く中で、世界的な感染は落ち着きを見せつつあるものの、依然として収束には至っていない。

この3年間は、日印関係も試練の時であったが、日印双方の官民の努力により、着実に進展していると言える。

恒例の日印首脳相互訪問は、2019年度の安倍晋三総理訪問が直前で中止となり、以来途絶えて久しいものがあったが、その後の首脳間交流としては、2021年3月に菅義偉総理がQUAD（日米豪印4カ国対話）の初めての首脳会議がビデオ方式で開催された際、モディ首相と会話を交わし、7月にはモディ首相出席のもとヴァラーナシで開催された日本の無償資金協力によるヴァラーナシ国際協力・コンベンションセンターの立ち上げ式にビデオメッセージを送り、地元のインドの人々から喝采を浴びた。次いで9月には、菅義偉総理はワシントンでQUAD首脳会議が対面方式で開催された際に、親しくモディ首相と日印関係の発展を祝した。

2021年10月に発足した岸田文雄内閣は、最初の外遊先として12月中の訪印に向け調整したが、新たな変異型ウイルス・オミクロン感染拡大のため中止せざるを得ないこととなった。デルタ型に次いでオミクロン型の感染の拡大により、日印間のビジネス、人的交流などは大きく負の影響を受けた。このように、困難な状況にありながらも、日印関係は確実に友好的かつ建設的に進展していると考えられる。

以下に、この1年を振り返り、日印関係を政治、経済などの点から回顧することとした。

### <日印関係の現状>

日印両国は、「特別・戦略的・グローバル・パートナーシップ」の下で、二国間関係の増進のほか双方に関係の深い地域問題や国際問題についての協議・協調を進めてきている。わが国が唱えた『自由で開かれたインド太平洋』ビジョンは、第一次安倍内閣の2007年に、安倍総理がインド国会において行った『二つの海の交わり』の演説の延長線上にあるが、最近ではアフリカに対する日印協力構想、さらにインド太平洋地域の核となる日米豪印4カ国による対話（QUADクアッド）に発展した。

このところの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、両国間のビジネス、文化における人的交流が途絶えていたが、政府間では、首脳レベル、閣僚レベル、事務レベルなど広範な外交が展開されている。

最近の日印両国の関係を示す具体的な動きとしては、菅義偉内閣時に新型コロナウイルス感染がインドを揺るがした際、わが国が人工呼吸器、酸素濃縮器を無償提供のほか無償資金供与などを実施したことが挙げられる。かねて合意した日印物品役務相互提供協定（ACSA）の早期実行、インド国軍とわが自衛隊との陸海の共同訓練を含む防衛協力の更なる推進、およびサイバー、IT、食品加工、健康医療、高速鉄道事業、人的交流などでも、一定の具体的進展を見た。

2022年9月27日、岸田総理は故安倍晋三国葬儀に参列のため訪日中のモディ首相と首脳会談を行った。会談では、岸田首相からは、安倍元首相の外交的な業績を更に発展させ「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて引き続き連携していきたい旨述べた。モディ首相からは、安倍元首相の逝去に対し心からの哀悼の意が示された。両首脳は、様々な分野において協力を推進していくことを確認し、また、このタイミングでモディ首相は菅義偉前総理と面談を行った。

インドにおいては、12月15日デリーで、山田重夫外務審議官とクワトラ外務次官の間で日印外務次官級政務協議が開催された。

今年に入っては、1月25日、芝公園の東京プリンスホテルにて日印協会創立120周年を記念すると共に、今年1月1日付けで新会長に就任された菅義偉会長ご披露のレセプションを約250名の参加者を得て盛大に開催した。

翌1月26日、インド大使館主催による「インド共和国74周年記念日祝賀行事」が都内で開催され、菅義偉日印協会会長が挨拶を行った。

岸田総理は、3月19日から21日までの日程で昨年3月以来1年ぶりとなる訪印を行い、総理就任後4度目となる日印首脳会談を行った。会談は全体会合とワーキングランチで約120分に及び、G7とG20の連携、二国間関係の深化及び地域情勢・国際場裡における協力について幅広く議論を行った。また、モディ首相の発案で、夕刻には2人きりで「ブッダ生誕記念公園」を散策し親交を深めた。

このように、日本とインドの関係は世界でも最も可能性を秘めた二国間関係となったが、日印協会は最も伝統のある日印友好団体として、引き続き役割を果たしていく所存。

#### <役員の変動>

年度内役員の変動では、2002年に就任された第7代目会長の森喜朗氏が6月に退任され代わりに第8代目会長として安倍晋三元総理が就任された。しかしながら、翌7月に安倍会長は、選挙応援のため訪れた奈良での演説中に、突然の凶弾に倒れられ必死の介護の甲斐もなく落命された。その後会長は空席となり、今年1月1日付け（登記上は令和4年11

月)で第9代目会長として菅義偉前総理が就任された。

また、理事・副会長では、平林博代表理事・理事長が理事・副会長に就任され、代わりに齋木昭隆元駐印大使・外務次官が代表理事・理事長に就任された。また、宮崎洋一トヨタ自動車執行役員が退任、代わって金澤勇一トヨタ通商グローバル部品・ロジスティクス本部 COO に就任いただいた。また、近藤正規国際基督教大学上級准教授が退任され、代わりに笠井亮平岐阜女子大学南アジア研究センター特別客員准教授に就任いただいた。また、笹田勝義業務執行理事・常務理事が理事に就任され、代わりに西本達生日印協会事務局長が業務執行理事・常務理事に就任した。また、顧問であった八木毅氏が評議員に就任され、新たに平松賢司日本総研国際戦略研究所理事長、元駐印・前西大使が顧問に就任された。

次に 2022 年度の活動に関し、定款 28 条第 3 項の定めにより、次の各項

1. 事業活動
2. 会員状況
3. 収支状況

について業務報告する。

## 1. 2022 年度事業活動

### (1) 評議員会及び理事会の開催

- 2022 年 4 月 4 日 2022 年度予算評議員会 (定例、但し電磁式)
- // 5 月 24 日 2021 年度決算理事会 (ザ・プリンスパークタワー東京)
  - // 6 月 9 日 2022 年度評議員会 (法曹会館)
  - // 6 月 14 日 臨時理事会 (代表理事安倍晋三、齋木昭隆を選定の件)
  - // 11 月 17 日 臨時評議員会 (理事に菅義偉を選定の件)
  - // 11 月 24 日 臨時理事会 (代表理事に菅義偉を選定の件)
  - // 12 月 12 日 臨時評議員会 (評議員に八木毅を選定の件)
- 2023 年 2 月 3 日 臨時評議員会 (定款の一部変更定款第 2 条を主たる事務所を東京都千代田区に置く、但し電磁式)
- // 2 月 6 日 臨時理事会 (主たる事務所の移転の件、但し電磁式)
  - // 3 月 7 日 2023 年度予算理事会 (事業計画案、事業予算案、評議員会の招集等の承認の件)

概要は以下の通り。

開催時期	会議名	議案	場所
2022/4/4	2022年度 予算評議員 会	①「2022年度事業計画（案）」の承認の件（決議事項）	電磁式
		②「2022年度事業予算（案）」の承認の件（決議事項）	
2022/5/24	2021年度 決算理事会	①「2021年度事業報告書（案）」の承認の件（決議事項）	ザ・プリンスパー クタワー東京
		②「2021年度決算報告書（案）」の承認の件（決議事項）	
		③「2022年度定例評議員会の招集」の承認の件（決議事項）	
		④「2022年度役員改選の件」の報告の件（報告事項）	
		⑤「会員状況」の報告の件（報告事項）	
2022/6/9	2022年度 評議員会	①「2021年度事業報告書（案）」の承認に関する件（決議事項）	法曹会館
		②「2021年度決算報告（案）」の承認の件（決議事項）	
		③「2022年評議員、理事、監事改選」の承認の件（決議事項）	
		④「会員状況」の報告の件（報告事項）	
2022/6/14	臨時理事会	①代表理事（安倍晋三、齋木昭隆）選定の件（決議事項）	電磁式
2022/11/17	臨時評議員 会	①理事に菅義偉を選定の件（決議事項）	電磁式
2022/11/24	臨時理事会	①代表理事に菅義偉を選定の件（決議事項）	電磁式
2022/12/12	臨時評議員 会	①評議員に八木毅を選定の件（決議事項）	電磁式
2023/2/3	臨時評議員 会	①定款の一部変更定款第2条を主たる事務所を東京都千代田区に置くことを変更する。（決議事項）	電磁式
2023/2/6	臨時理事会	①主たる事務所の移転の件（決議事項）	電磁式
2023/3/7	2023年度 予算理事会	①「2023年度事業計画（案）」の承認の件（決議事項）	日印協会 会議室
		②「2023年度事業予算（案）」の承認の件（決議事項）	
		③評議員会の招集（決議事項）	

(2) 協会機関誌「月刊インド」の発行—公3に準ずる事業—

会員へのサービス、さらには会員以外へのインドのニュースの普及を目指して刊行中の月刊誌「月刊インド」は、インドの内政、外交、日印協会関係に関する主要な出来事を、外務省・在インド日本大使館の協力を得て月毎にまとめた「インドニュース」という貴重な情報のほか、インドと日印関係において注目される興味ある記事を掲載してきた。

この蓄積データは以前、マイクロフィルム化され、協会と東京外語大学で保存されてきたが、3年前に創設以来の各号の記事のタイトルなどを電磁化し、協会でも保存しており、協会会員や日印研究者にとっても、インド研究の上で貴重な資料である。予算と人手不足により、英語版はまだ着手していないが、インド人ほかの外国人会員に多少なりとも役立つよう、英語の記事や日本語寄稿文への英語タイトルの付与など工夫を重ねてきた。

以下に各号ごとの概要を記す。

月号	発行 日	記事
2022年 4月号	4/15	2022年度予算理事会 報告
		特集シリーズ 歴代元駐インド日本大使が日印国交樹立 70周年を振り返る 第1回 日印関係 70周年と私 (日印協会 代表理事・理事長 平林 博)
		インドニュース(2022年 2-3月)
		イベント紹介「夢野久作と杉山三代研究会」の第8回研究大会
		新刊書紹介、掲示板
2022年 5月号	5/20	特集シリーズ 歴代元駐インド日本大使が日印国交樹立 70周年を振り返る 第2回 インド万華鏡 (谷野 作太郎)
		ウクライナ危機の中の印露の紐帯 (広瀬公巳)
		インド大使館主催「日印国交樹立 70周年祝賀会」
		新刊書紹介、インドニュース(2022年 4月)、イベント紹介とお知らせ、掲示板
2022年 6月号	6/17	日印協会 会長・理事長交代式 報告
		特集シリーズ 歴代元駐インド日本大使が日印国交樹立 70周年を振り返る 第3回 インド新幹線余話 (榎 泰邦)
		モディ首相の公式訪日に伴った外務省南部アジア部加納部長講演会
		天竺詣でを再開! (鍋木義博)
		インドニュース(2022年 5月)、掲示板
2022年 7-8月 合併号	7/15	齋木理事長よりメッセージ — 安倍晋三 日印協会会長の急逝を悼む —
		2021年度決算理事会・2022年度評議員会報告
		特集シリーズ 歴代元駐インド日本大使が日印国交樹立 70周年を振り返る 第4回 私とインド(堂道秀明)
		日印協会での日々を振り返って (笹田勝義)
		インドニュース(2022年 6月)、新刊書紹介、イベント紹介とお知らせ、掲示板
2022年 9月号	9/22	安倍会長追悼号に寄せて (齋木昭隆理事長)
		My Friend, Abe San (ナレンドラ・モディ インド首相)
		安倍総理とモディ首相が築いた特別な日印関係 (元総理大臣秘書官 次期駐インド日本国大使 鈴木浩)
		安倍さんへの感謝 (スズキ相談役 鈴木修)
		安倍晋三元総理を偲んで (茶道裏千家 15代・前家元 千玄室)
		安倍元総理の逝去を悼み、日印関係に残した巨大な貢献を思う (慶應義塾大学大学院教授 谷口智彦)
		安倍氏が築いた日印関係 (国際基督教大学上級准教授 近藤正規)
		インドニュース(2022年 7-8月)、イベント紹介、新刊書紹介、掲示板

2022年 10月号	10/21	特集シリーズ 歴代元駐インド日本大使が日印国交樹立70周年を振り返る 第5回 私の経験した日印国交樹立70周年（八木 毅）
		日本とインドの絆（比良竜虎）
		インド国会議員5人が齋木昭隆 JIA 理事長を訪問
		インドニュース(2022年9月)、新刊書紹介、イベント紹介、掲示板
2022年 11-12 月 合併号	11/22	特集シリーズ 歴代元駐インド日本大使が日印国交樹立70周年を振り返る 第6回 戦略的パートナーとしてのインド（平松賢司）
		映画「スーパー30 アーナンド先生の教室」の字幕を作成して（佐藤裕之）
		協会主催「新旧駐印大使歓送迎レセプション」
		インドニュース(2022年10月)、新刊書紹介、イベント紹介、掲示板
2023年 1月号	1/27	菅会長より年頭のご挨拶
		インドの魔法（山田真美）
		インドのきら星（江田 仁）
		インドニュース(2022年11月-12月)、新刊書紹介、イベント紹介、移転のお知らせ
2023年 2-3月 合併号	3/3	日印協会創立120周年記念レセプション
		3年ぶりのインドー現地で感じた変化と熱気（笠井亮平）
		ICCR主催 7th Batch of Gen-Next Democracy Network Programに参加して(島村りちな)
		インドニュース(2022年11月-12月)、新刊書紹介、イベント紹介、移転のお知らせ

(3) Web版季刊誌「現代インド・フォーラム」の発行（年間4回発行）—公1に準ずる事業—

今期も予定通り発刊できた。

日本人学者や研究者のみならず、インド人ほかの外国執筆陣も投稿するようになり、一部論文は英語版としている。英語論文については、読者の便宜のために日本語の要旨を付すことにしている。

「月刊インド」及び「現代インド・フォーラム」を日本語と英語の双方で発刊することは、予算と人手不足のために難しい状況だが、できるだけ工夫を凝らす方針である。

概要は以下の通り。

テーマ・名称	タイトル	著者
2022 年春季号 No.53	「現代インド・フォーラム」2022年春季号特別寄稿 日印国交樹立70周年を回顧する	平林 博（日印協会理事長、元駐インド日本国大使）
	日印関係の回顧と展望：共存する緊密さとズレ	堀本武功（国際政治学者）
特集： 日印国交樹立70周年	日印経済関係のレビューと今後の展望	小島 眞（拓殖大学名誉教授）
2022 年夏季号 No.54	ロシアとインド：対米バランスと中央ユーラシア協商	岩下明裕（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）
	インドとロシア：その「同盟観」を考える	吉田 修（広島大学大学院人間社会科学研究科教授）
特集：インドとロシアの関係：ウクライナ侵攻をめぐる	インドはなぜロシア非難決議に棄権したのか	笠井亮平（岐阜女子大学南アジア研究センター特別客員准教授）
2022 年秋季号 No.55	「ジェンダーと開発」における女性の政治経済参加—ケララ州を事例に—	喜多村 百合（元筑紫女学園大学教授）
	ジェンダーと労働市場 —インドの「働く」女性たち—	木曾順子（フェリス女学院大学 国際交流学部教授）
特集：インドのジェンダー問題	現代インドにおける家族およびジェンダー規範の変容	菅野美佐子（青山学院大学地球共生学部助教）
2023 年冬季号 No.56	安倍晋三：日印関係をかさ上げたリーダー	プルネンドラ・ジェイン（豪州アデレード大学アジア研究所名誉教授）
	安倍元首相の対印 ODA における貢献	近藤正規（国際基督教大学教養学部上級准教授）
特集：日印関係における安倍外交の位置づけ	安倍元首相の何が日印関係を後押ししたのか	長尾 賢（ハドソン研究所 研究員）



(4) 日印協会直接の現地視察・調査事業—公1に準ずる事業—

今期も新型コロナウイルスの感染拡大により両国間の往来が困難となったため実施しなかった。

(5-1) 日印協会が主催/共催した事業

開催期間	行事名	主催者	開催場所
5/24	日印協会 会長・理事長交代レセプション	日印協会	ザ・プリンスパークタワー東京
5/31	モディ・インド首相の訪日に関する報告会 外務省南部アジア部部長 加納雄大氏	日印協会	法曹会館
6/10	日印協会共催オンラインセミナー	一般社団法人国際貿易投資研究所 (ITI) /日印協会	オンライン
9/21	朝食講演会 谷内正太郎氏 (元内閣特別顧問、初代国家安全保障局長、元外務次官)	日印協会	東京プリンスホテル
10/28	朝食講演会 河野克俊氏 (元統合幕僚長)	日印協会	東京プリンスホテル
11/2	鈴木 浩・鈴木 哲 新旧駐印大使歓送迎レセプション	日印協会	東京プリンスホテル
11/14	朝食講演会 高原明生先生 (東大大学院教授)	日印協会	東京プリンスホテル
12/2	新駐日インド大使シビ・ジョージ閣下 及び 令夫人歓迎夕食会	日印協会 日印経済委員会 在日インド商工協会	東京プリンスホテル
12/5	ジビ・ジョージ駐日大使による菅会長・齋木理事長への表敬訪問		菅事務所
12/21	朝食講演会 中尾武彦 (みずほリサーチ & テクノロジーズ理事長)	日印協会	東京プリンスホテル
1/25	日印協会創立 120 周年記念並びに菅義偉会長就任披露レセプション	日印協会	東京プリンスホテル
2/28	朝食講演会 倉井高志 (前駐ウクライナ特命全権大使)	日印協会	東京プリンスホテル

3/30	有馬 裕 (ありま ゆたか) 外務省南部アジア部 部長 岸田総理訪印に関する報告会	日印協会	国際文化会館
------	--	------	--------

(5-2) 他、後援するなど間接的に関わった事業

開催期間	行事名	主催者	開催場所
継続 ~ 2023/7 /17	ブッダと白隠禅師展	白隠宗大本山松陰寺 日 印文化交流ネットワ ーク	インド大使館、ほか 各地
2022年 4/6	第77回 FEC インド研究会セミナー (中島 敬二氏)	民間外交推進協会 (FEC)	ZOOM オンライン
4/8	「日印関係の未来に向けて:チャ ンスと 課題対応」ウェビナー	森・濱田松本法律事務所	ZOOM オンライン
4/9 ~ 4/10	ナマステ福岡 2022 (オンライン開催)	ナマステ福岡実行委員 会	オンライン
4/9~9/2	在日インド大使館内図書館に「ネタジ文 庫」募集及び、9月2日にネタジ生誕 125年記念講演会	チャンドラ・ボース生誕 125年記念実行委員会	インド大使館 VCC 講 堂
2022年 4/14	ビームラーオ・ラームジー・アンベード カル博士 祝生誕 131周年 記念講演 会	特定非営利活動法人 日 印国際産業振興協会 と Ambedkarites in Japan	インド大使館 VCC 講 堂
4/15	Carpet & HandCraft 展	インド大使館	インド大使館
4/26	アーユルヴェーダ講演会	日本アーユルヴェー ダ・スクール/インド 大使館	大使館 VCC 講堂
4/28	日印国交樹立 70周年記念イベント	インド大使館	大使館 VCC 講堂
5/9	ラビンドラナート・タゴール翁生誕記念 祝賀会	インド大使館	大使館 VCC 講堂
5/19	virtual conference, “ India-Japan Relations at 70: Reflection and Way Forward”	the Indian Council of World Affairs (ICWA)	オンライン
5/21	東証新聞「渋沢栄一が設立に関わった企 業の DNA を探る」インタビュー	東京商工会議所	東商新聞掲載

5/24	森元日印協会会長、安倍日印協会会長が モディ首相を表敬		都内ホテル
6/12	スワミー・ヴィヴェーカーナンダ第 159 回生誕記念祝賀会	日本ヴェーダーンタ協 会 インド大使館	インド大使館 VCC 講 堂
6/21	国際ヨガデイ 政府観光局でヨガ	インド政府観光局	オンライン
6/26	国際ヨガデイ×のはらでスペシャルネー チャーヨガ	Yokohama YOGA DAY 実行 委員会/公益財団法人 横浜市緑の協会	カフェ下階段を下 りて、すぐの芝生
7/10	フラメンコ X カタックダンス	MIYABI カタックダンス アカデミー	シルクロードカフ ェ
7/25	「India & Japan: Future Forum “Action WITH INDIA”」	ムーンリンク株式会社	オンライン
9/16	インド国会議員 5 人が齋木理事長を訪問		会議室
9/16 ~ 9/24	日印国交樹立 70 周年記念 900km 横断課題 体感型アイデアソン	日印国交樹立 70 周実行 委員会	インド各地
9/19 ~ 9/24	「石見神楽公演」 & 「ゴンド族絵画展」	石見神楽東京社中、イン ド大使館	インド大使館 VCC 講 堂
9/25	ヒンドゥー神々の物語	古代オリエント博物館	古代オリエント博 物館
9/29	タミルナド州ミッション	日本貿易振興機構 (ジェ トロ)、タミルナド州 政府	ホテルニューオー タニ東京
10/1	インド古典舞踊「ガラス絵遊戯 インドの 舞」	ケララ企画	座・高円寺 2
10/6	ヴァルマ大使 歓送会	在日インド商工協会 (ICIJ)	銀座クレストン
10/8 ~ 10/10	インディアメーラー2022	インディアメーラー開 催実行委員会	メリケンパーク (神 戸市)
10/15 ~ 10/16	インドフェスタ 2022~ディワリ・イン・ ヨコハマ	インドフェスタ実行委 員会	山下公園 お祭り 広場
10/20	オンラインセミナー” Communication Through Media”	株式会社 K&L	オンライン

10/30	東京ディワリフェスタ西葛西	東京ディワリフェスタ 西葛西実行委員会	総合レクリエーシ ョン公園（子供の 広場／恐竜公園）
11/6	ナマステ富士山 2022	ナマステ富士山実行委 員会	スタジオサランガ イ
11/9	HK Singh 元大使叙勲レセプション		国際文化会館
11/11	インドの未開拓の消費者市場への参入・ 誤解と現実	Nexdigm, Yokohama India Centre	オンライン
12/5	ジビ・ジョージ駐日大使による菅会長・ 齋木理事長への表敬訪問		菅事務所
12/17	『アクニ〜デリーの香るアパート』本編 上映	東京外国語大学 TUFSCinema	東京外国語大学
1/13	岩立フォークテキスタイルミュージアム		岩立フォークテキ スタイルミュ ージアム
1/13	映画試写会「エンドロールのつづき」	スズキ（株）	角川試写室
1/23	日本語字幕版「ボース 忘れられた英雄」 上映会	インド大使館	大使館 VCC 講堂
1/26	インド共和国記念日祝賀会	インド大使館	The Okura
1/30	ヨガ・シヴィル〜腰痛のためのヨガ	インド大使館	大使館 VCC 講堂
2/2	北東インド開発セミナー	インド大使館	大使館 VCC 講堂
2/5	インド舞踊公演「パンディト、ビルジュ ー・マハーラージ追悼公演」	MIYABI カタックダンス アカデミー	天王洲 KIWA
2/15～17	インド国際シーフードショー	インド海産物輸出振興 局	インドコルカタ
2/15	第2回インド企業法務セミナー	インド大使館	インド日本商工会 会議室
2/24 ～ 3/14	第26期日本インド学生会議	日本インド学生会議	コルカタ、チェンナ イ、デリー
3/1	バガヴァッド・ギータ読書会	インド大使館 VCC	インド大使館
3/1	インド大使館スタートアップセミナー	インド大使館	インド大使館

3/27	George 大使公邸夕食会	インド大使館	大使公邸
3/29	インド大使館桜を見る会	インド大使館	インド大使館

## 2. 会員の状況

### (1) 法人会員：

協会の活動と財政基盤を支える法人会員の数は、2022年2月末現在120社であったが、2023年3月末には148社と28社増加している。

新規に特別法人として入会いただいたのは次の12社。日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ、西武・プリンスホテルズワールドワイド、鳥飼総合法律事務所、リッキービジネスソリューション㈱、ポラリス・キャピタル・グループ㈱、㈱プレジィール、総合警備保障㈱、民間外交推進協会、みなとみらい特許事務所、㈱伊藤園、㈱エイチ・シーエル・ジャパン、朝日新聞東京本社。

一般法人として入会いただいたのは次の26社。㈱クボタ、富士電機㈱、アセアン・フィナンシャル・ホールディングス㈱、産経新聞東京本社、㈱テレビ朝日、㈱フジテレビジョン、読売新聞東京本社、㈱安藤・間、エンビジョンエンタプライズソリューションジャパン㈱、日本テレビ放送網㈱、㈱INPEX、飛島建設㈱、酒井重工業㈱、㈱オリエンタルコンサルタンツグローバル、いすゞ自動車㈱、内外トランスライン㈱、㈱オープンハウスグループ、㈱オリエンタルランド、SBSホールディングス㈱、日本郵船㈱、㈱アシックス、㈱啓文社、ノリタケカンパニーリミテド、㈱日本経済新聞社、露木興業㈱、山九㈱。

これに対して、2022年度内の退会法人は、ナンギアアンダーセン、バイオマスパワーテクノロジーズ、アカツキ、スタンダードチャータード銀行、ソフトバンクグループ、運動会屋、リクシル、ミサワホーム、(有)第メックス、山九㈱の10社。従い、今年度の法人会員は差し引き28社の増加となっている。

なお、2023年度に入ってから、㈱サカタのタネ、㈱IHI、㈱ディー・エヌ・エーが新規に入会した。

### (2) 個人会員：

昨年3月末現在で327人であったが、今年3月末では360名と33名増えている。うち、構成内容についてはインド人会員45人(昨年同期37人)、学生会員8人(昨年同期15人)とインド人会員が増える一方で学生会員の減少が見られる。諸物価の高騰なども影響しているのかもしれない。

公益財団法人 日印協会 法人会員

(五十音順 2023年4月27日現在)

<p>特別法人会員 55社</p>	<p>株式会社 朝日新聞社 医療法人社団 育健会 株式会社伊藤園 伊藤忠商事株式会社 ウェブスタッフ株式会社 弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所 株式会社エイチシーエル・ジャパン 株式会社NTTドコモ ASA Corporate Catalyst India Pvt. Ltd. キャノン株式会社 国際縄文学協会 国際スポーツ振興協会 公益財団法人 国際文化会館 株式会社國商 小島国際法律事務所 株式会社小松製作所 株式会社シンリョー ジャパンベガサスツアー株式会社 スズキ株式会社 住友商事株式会社 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド 世界開発協力機構 世界芸術文化振興協会 全日本空輸株式会社 総合警備保障株式会社 双日株式会社 第一三共株式会社 株式会社大和証券グループ本社</p>	<p>株式会社ディー・エヌ・エー 一般財団法人東京芸術財団 株式会社東芝 株式会社東横インホテル企画開発 豊田通商株式会社 鳥飼総合法律事務所 日本航空株式会社 株式会社日本視聴覚社 日本製鉄株式会社 日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社菱法律・経済・政治研究所 株式会社日立製作所 フィデル・テクノロジーズ株式会社 株式会社プレジィール ボラリス・キャピタル・グループ株式会社 松田綜合法律事務所 丸紅株式会社 株式会社ミスズ 三井物産株式会社 三菱商事株式会社 みなとみらい特許事務所 民間外交推進協会 (FEC) 武蔵野メディカル株式会社 株式会社ライズ・ジャパン ランプの宿株式会社 リッキービジネスソリューション株式会社</p>
<p>一般法人会員 96社</p>	<p>株式会社IHI 株式会社IPパートナーズ 株式会社アシックス アセアン・フィナンシャル・ホールディングス株式会社 株式会社 安藤・間 いすゞ自動車株式会社 株式会社INPEX エア・インディア リミテッド SBSホールディングス株式会社 株式会社エトワール海渡 エンビジョンエンタプライズソリューションジャパン株式会社 沖印友好協会 株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル 株式会社オリエンタルランド 株式会社オープンハウスグループ 鹿島建設株式会社 株式会社クボタ 株式会社熊谷組 株式会社 啓文社 株式会社 ケー・アンド・エル 鴻池運輸株式会社 酒井重工業株式会社 株式会社 サカタのタネ 山九株式会社 産経新聞 東京本社 正論調査室 株式会社システムコンサルタント 有限会社シタール 品川イーストクリニック 株式会社商船三井 J F E スチール株式会社 JGreen Power Private Limited 株式会社ジェイティービー 住友重機械工業株式会社 住友電気工業株式会社 セコム医療システム株式会社 ZEUS Law SOMPOホールディングス株式会社 株式会社タマイ インベストメント エデュケーションズ ダイキン工業株式会社 露木興業株式会社 TMI総合法律事務所 ティー・ディー・パワーシステムズ・リミテッド 帝人株式会社 株式会社テクノロジーOne 株式会社テレビ朝日 株式会社デンソー 株式会社電通 東京海上日動火災保険株式会社</p>	<p>東洋アルミニウム株式会社 東レ株式会社 飛鳥建設株式会社 トヨタ自動車株式会社 内外トランスライン株式会社 株式会社中村屋 西村あさひ法律事務所 日印ビジネス支援協会 株式会社 日産自動車株式会社 NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社 日本経営ウイール税理士法人 株式会社 日本経済新聞社 公益財団法人日本交通公社 一般財団法人 日本国際協力センター 日本テレビ放送網株式会社 日本電気株式会社 株式会社ニフコ 日本放送協会 日本郵船株式会社 野村ホールディングス株式会社 株式会社ノリタケカンパニーリミテド ハイカル ジャパン 株式会社ハウラー 株式会社博報堂 パナソニックホールディングス株式会社 阪和興業株式会社 株式会社ピーアイ・ジャパン 日立造船株式会社 株式会社日吉 富士通株式会社 株式会社フジテレビジョン 富士電機株式会社 国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 前田建設工業株式会社 株式会社みずほ銀行 三井住友海上火災保険株式会社 株式会社三井住友銀行 三菱重工業株式会社 森・濱田松本法律事務所 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社ヤクルト本社 株式会社安井建築設計事務所 ヤマハ発動機株式会社 ユービーエルジャパン合同会社 読売新聞東京本社 学校法人立命館 ロジスティード株式会社 YKK株式会社</p>
<p>2022年度退会法人：ナンギアアドバイザーズ、バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社、株式会社アカツキ、スタンダードチャータード銀行、運動会屋、LIXIL、ソフトバンクグループ株式会社、ミサワホーム株式会社、有限会社ダイメックス</p>		

### 3. 収支状況

添付の 2022 年度（令和 4 年度）予算対比実績（損益計算書ベース）を参照）

- (1) 主として会費収入からなる経常収益は 31.5 百万円と対予算 27.5 百万円に比べ 4 百万円の増収、前年実績 22.1 百万円に対し 942 万円の大幅増となった。その理由としては、法人会員の増加及び個人会員と合わせて会費収入増が 434 万円であった。また、120 周年記念レセプション等のイベント事業収入が 573 万円あったことが大きい。加えて広告収入も 1 社増した（5 万円）。また、現金による寄付金として個人会員から 2 件（合計 1 万円）の浄財をいただいている。
- (2) 他方、主催事業開催事業費や月刊誌・季刊誌発刊、ホームページなどの情報発信費用からなる直接事業費、及び役員報酬、職員給与、事務所費用などからなる間接事業費の二つから構成される経常費用は 35.1 百万円で、前年の 23.1 百万円に対して大幅な支出増となった。支出増の主なものとしては、120 周年記念レセプション、朝食講演会の 5 回開催、駐インド日本大使交代レセプション、また事務所移転費用等への支出があげられる。
- (3) 358 万円の赤字であったが、2022 年度の予算 362 万円の赤字とほぼ同額となった。

以上

公益財団法人 日印協会 役員等名簿

2023年1月27日

代表理事・会長	菅 義 偉	第99代内閣総理大臣
代表理事・理事長	齋 木 昭 隆	元駐印大使 元外務事務次官
評議員	小 島 眞	拓殖大学名誉教授
評議員	渋 澤 健	シブサワ アンド カンパニー代表取締役
評議員	堂 道 秀 明	前JICA副理事長 元駐印大使
評議員	ペ マ ・ ギ ャ ル ボ	拓殖大学客員教授
評議員	林 康 夫	JETRO顧問 元中企庁長官 元JETRO理事長
評議員	堀 本 武 功	国際政治学者 元京都大学特任教授
評議員	松 田 純 一	松田総合法律事務所所長
評議員	八 木 毅	元駐印大使 前駐独大使
理事・副会長	鈴 木 修	スズキ株式会社相談役
理事・副会長	大 橋 徹 二	コマツ取締役会長
理事・副会長	中 村 邦 晴	住友商事取締役会長
理事・副会長	平 井 康 光	三菱商事 代表取締役常務執行役員
理事・副会長	大 間 知 慎 一 郎	三井物産顧問
理事・副会長	平 林 博	前日印協会理事長 元駐印・駐仏大使
理事	大 内 晴 美	大内晴美税理士事務所所長
理事	笠 井 亮 平	岐阜女子大学南アジア研究センター特別客員准教授
理事	金 澤 勇 一	豊田通商グローバル部品・ロジスティクス本部COO
理事	笹 田 勝 義	前日印協会業務執行理事・常務理事
理事	竹 中 千 春	元立教大学法学部教授
業務執行理事・常務理事 ※	西 本 達 生	前日印協会事務局長 元インド日本商工会初代事務局長
理事	原 佑 二	元日印協会業務執行理事・常務理事 元インド三菱商事社長
理事	半 田 晴 久	世界芸術文化振興協会会長
理事	比 良 竜 虎	株式会社シンリョー相談役
理事	増 田 泰 三	有限会社シタール代表取締役
理事	山 田 真 美	日印芸術研究所言語センター長
監事	江 田 仁	元帝京平成大学教授 元三菱重工インド代表
監事	高 梨 恒 弘	高梨恒弘税理士事務所所長
顧問	前 田 専 學	東京大学名誉教授 中村元東方研究所名誉理事長兼研究顧問
顧問	谷 野 作 太 郎	(公財)日中友好会館顧問 元駐印・駐中大使
顧問	田 原 総 一 朗	田原総一郎事務所代表 ジャーナリスト
顧問	榎 泰 邦	榎インド総合研究所代表 元駐印大使
顧問	平 松 賢 司	日本総研国際戦略研究所理事長、元駐印・前駐西大使
顧問	勝 田 友 治	元日印協会理事 元備竹中工務店

(注) ※は常勤、他は非常勤

就任順または氏名の50音順